

平成17年度 わたしたちのまちの決算

(単位：千円)

一般会計決算の状況

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	繰越財源	実質収支額
①	②	① - ② = ③	④	③ - ④ = ⑤
16,456,749	15,665,846	790,903	16,399	774,504

※歳入決算額と歳出決算額の千円未満の金額は、切り捨てにより作成しています。

歳入

歳入決算額は164億5,674万9千円で、前年度（合併による旧町村と新町の合算額、以下同じ）と比べ56億7,471万7千円（対前年度▲25・6%）の減となりました。

歳入

◆町税 町税は、個人・法人町民税や固定資産税の増などにより、前年度と比べ4,832万1千円（対前年度2・4%）の増となりました。

繰入金

◆繰入金 繰入金は、財政調整基金繰入金の減などにより、前年と比べ26億8,976万9千円（対前年度▲88・7%）の減となりました。

国庫・県支出金

◆国庫・県支出金 国庫・県支出金は、前年度と比べ8億4,907万5千円（対前年度▲33・0%）の減となりました。

町債

◆町債 町債は、地域振興基金の積立に充てるための借入金の増などにより、

歳出（目的別）

◆総務費

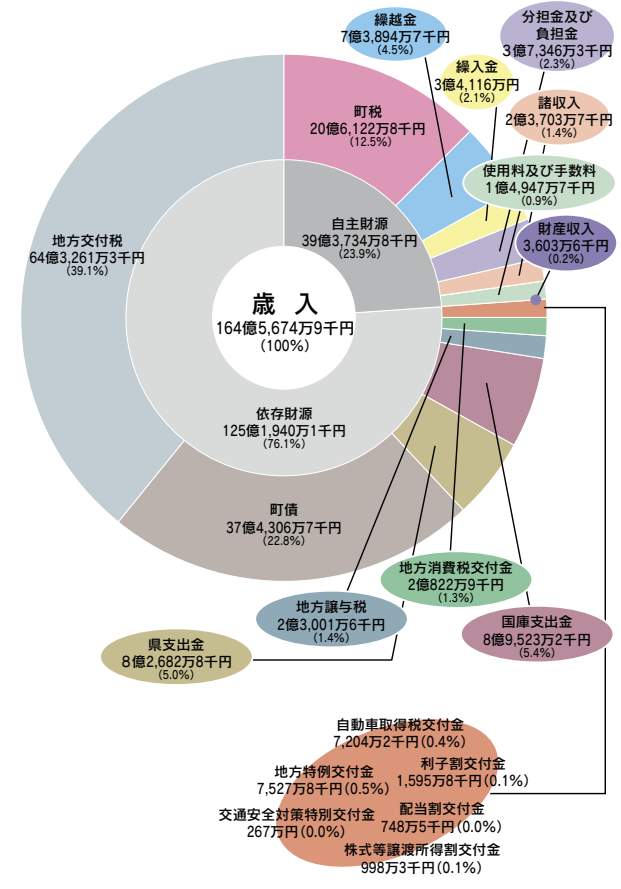
総務費は、合併準備経費の減などにより、前年度と比べ17億5,982万6千円（対前年度▲59・1%）の減となりました。

◆公債費

公債費は、前年度にあった減税補てん債の一括償還や借換による償換がなくなったことなどにより、前年度と比べ12億5,915万3千円（対前年度▲34・8%）の減となりました。

◆諸支出金

諸支出金は、地域振興基金への積立金の増など

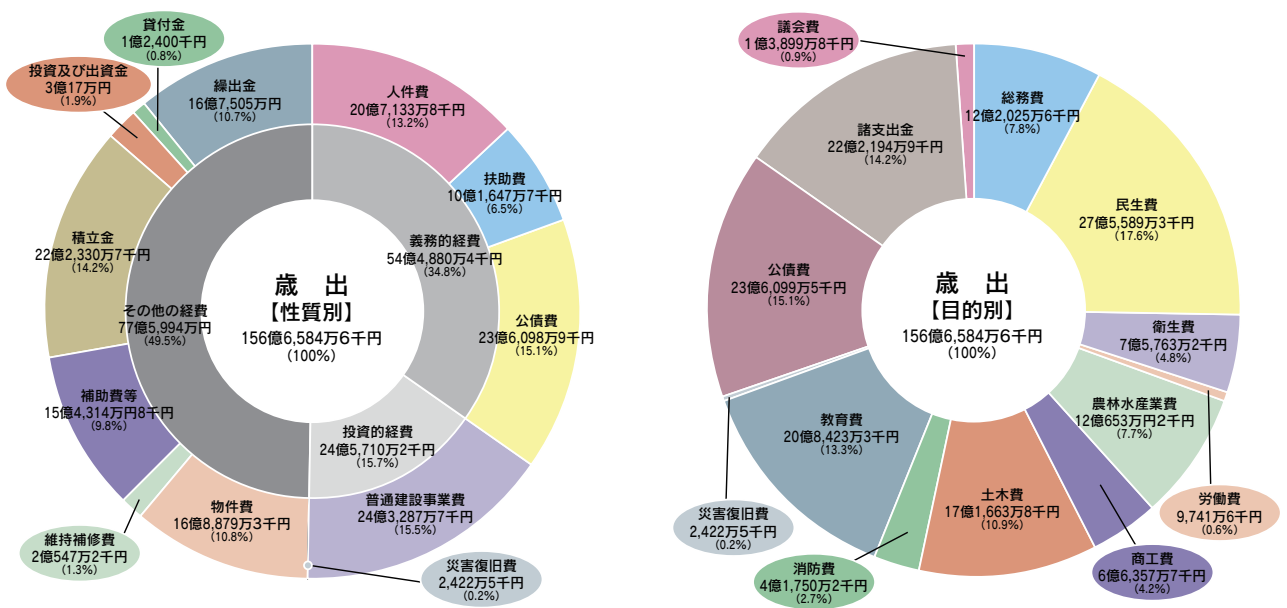


歳入

前年度と比べ3億4,287万4千円（対前年度10・1%）の増となりました。

◆地方交付税

地方交付税は、前年度と比べ2,057万7千円（対前年度0・3%）の微増となりました。



歳出（性質別）

◆義務的経費

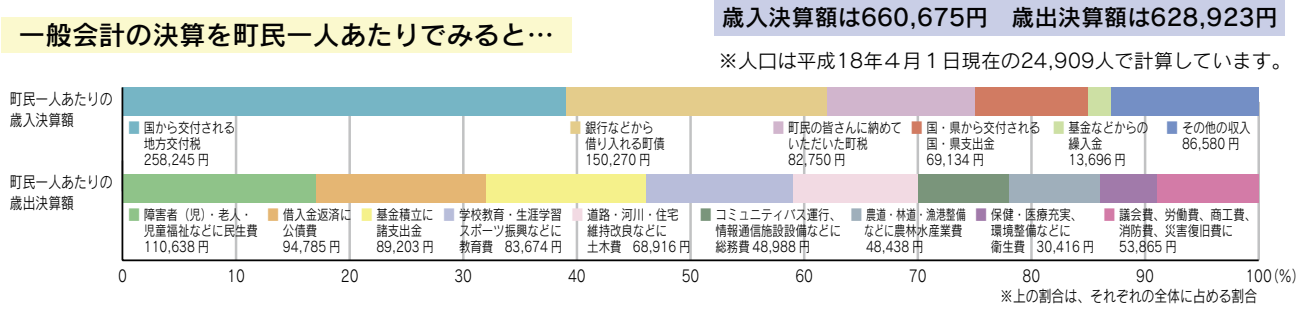
人員費（議員・委員の報酬、職員の給与・共済費など）、扶助費（障害者（児）・老人の生活支援、乳幼児等医療費の助成、児童手当の支給など）、公債費（借入金の返済）を合わせて24億5,710万2千円となりました。

◆投資的経費

普通建設事業費（コミュニティバス等の購入、農道・林道・漁港などの整備、町道の改良、学校の改造など）、災害復旧事業費（災害で被災した農地、農業用施設、町道などの復旧）を合わせて24億5,710万2千円となりました。

◆その他の経費

物件費（事務執行経費、施設管理費など）、補助費等（団体・事業への補助負担金、一部事務組合・企業会計への負担金など）、繰入金（特別会計への支出金など）、積立金（基金への積立）などを合わせて77億5,994万4千円となりました。



特別会計決算の状況

会計名	会計の内容	歳入決算額 ①	歳出決算額 ②	歳入歳出差引額 ①-②=③	繰越財源 ④	実質収支額 ③-④=⑤
国民健康保険事業	国民健康保険に加入している方の医療費の給付などを経理する会計	1,941,400	1,896,862	44,538		44,538
老人保健事業	75歳以上（一定の障害のある方は65歳以上）の方の医療費の給付などを経理する会計	2,778,845	2,755,145	23,700		23,700
介護保険事業	居宅介護・施設介護・居宅支援サービスの給付などを経理する会計	1,858,926	1,799,111	59,815		59,815
介護サービス事業	訪問介護・居宅介護支援・通所介護サービスの提供などを経理する会計	153,742	137,181	16,561		16,561
簡易水道事業	簡易水道施設の維持管理や建設などを経理する会計	832,276	825,984	6,292		6,292
公共下水道事業	公共下水道施設の維持管理や建設などを経理する会計	1,137,337	1,129,591	7,746	1,350	6,396
集落排水事業	農業集落排水施設・漁業集落排水施設の維持管理や建設などを経理する会計	852,562	844,614	7,948	4,638	3,310
温泉事業	越前地区の温泉給湯施設の維持管理や建設などを経理する会計	58,357	58,168	189		189
農林漁業体験実習館事業	宮崎地区の「若竹荘」の管理運営を経理する会計	25,601	25,601	0		0
合 計		9,639,046	9,472,257	166,789	5,988	160,801

歳入決算額と歳出決算額の千円未満の金額は、切り捨てにより作成しています。

財政指標（普通会計※4）

財政指標名	平成17年度	平成16年度	対前年度増減
財政力指数	0.28	0.26	0.02
経常収支比率	96.3%	95.8%	0.5%
実質公債費比率	24.1%		

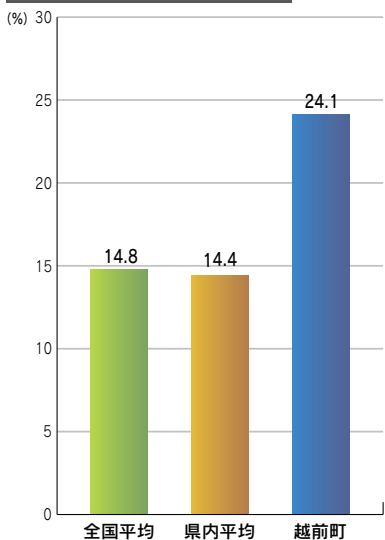
財政力の強弱
 財政力指数※5は、前年度より0.02ポイント増の0.28となりました。

財政構造の弾力性
 経常収支比率※6は、前年度より0.5%増の96.3%となりました。

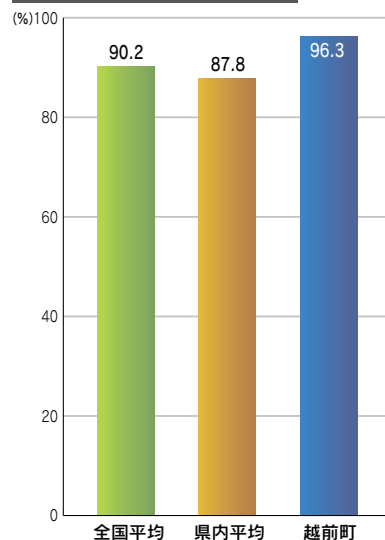
実質的な公債費負担の健全度
 平成18年度から地方債の発行が許可制度から協議制度へ移行したことに伴い新たに導入された実質公債費比率※7は、24.1%となりました。

※4 普通会計	地方公共団体における上下水道、病院、国保、介護保険などの公営事業会計以外の会計で、決算統計上用いる会計区分。越前町の普通会計は、「一般会計」と特別会計のうち「温泉事業特別会計」と「農林漁業体験実習事業特別会計」の三つの会計を合せたものです。
※5 財政力指数	普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の前3年度の平均値。この指数が1に近い（あるいは1を超える）ほど財政に余裕があるとされている。
※6 経常収支比率	地方税や普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。この比率が高いほど財政構造が弾力性を失っていることを示す。
※7 実質公債費比率	地方税や普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、「普通会計の公債費」や「上下水道・病院などの特別会計・企業会計の公債費に対する普通会計からの繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額（普通交付税が措置されるものを除く）」に充当されたものが占める割合の前3年度の平均値。この比率が18%以上の地方公共団体は、公債費負担適正化計画を策定し、これを前提に地方債の発行が許可される。

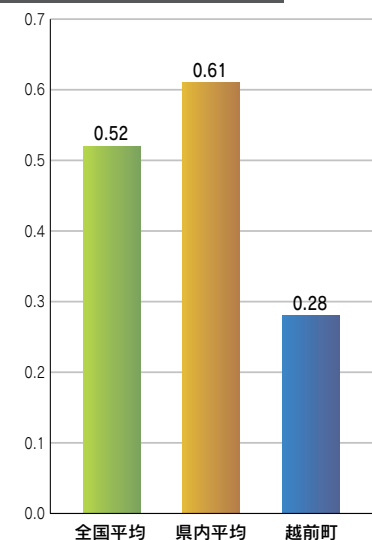
実質公債費比率



経常収支比率

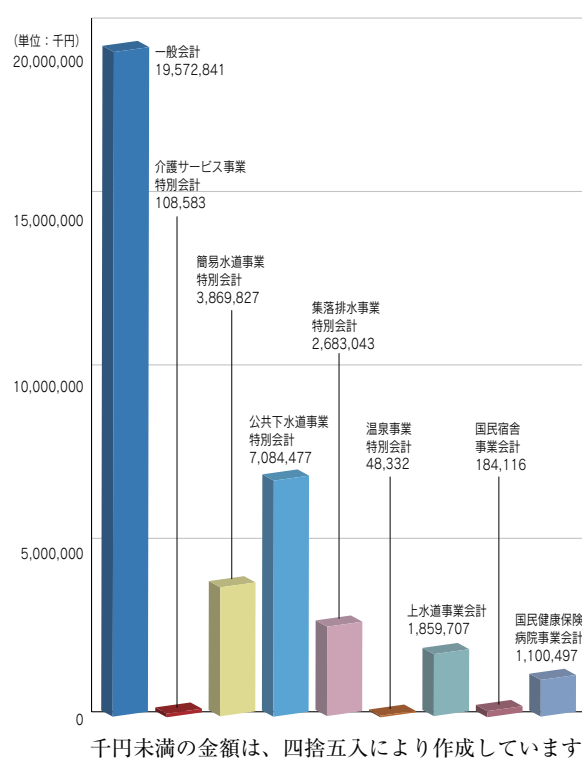


財政力指数



町債の状況

平成17年度末の現在高



町債（借入金） 全体の平成17年度末の現在高は3億65億1,142万3千円で、平成17年度では地域振興基金の積立に充てるための町債（合併特例債）21億8,000万を借り入れたことなどから、前年度と比べ12億9,959万5千円（対前年度3.7%）の増となりました。

町債（借入金）の平成17年度末の現在高を町民一人あたりで見ると、一般会計では約78万6千円となります。（人口は平成18年4月1日現在の24,909人で計算しています。）

決算状況

医療・介護関係の国民健康保険事業・老人保健事業・介護保険事業・介護サービス事業の歳出決算額の合計は65億8,829万9千円で、前年

歳入

歳入決算額の合計は96億3,904万6千円で、前年度と比べ14億1,449万8千円（対前年度▲12.8%）の減となりました。

歳出

歳出決算額の合計は94億7,225万7千円で、前年度と比べ19億4,420万4千円（対前年度▲17.0%）の減となりました。

決算収支

歳入歳出差引額の合計は1億6,678万9千円となり、これから翌年度に繰り越して実施する事業に充てる繰越財源598万8千円を差し引いた実質収支額（実質的な剰余金）の合計は1億6,080万1千円となりました。

企業会計決算の状況

(単位：千円)

会計名	会計の内容	区分	収入決算額①	支出決算額②	収支額①-②=③	備考
上水道事業	上水道施設の維持管理や建設などを経理する会計	収益的収支	172,764	172,695	69	
		資本的収支	20,729	92,193	▲71,464	不足額は損益勘定留保資金で補てん
国民宿舎事業	「かれい崎荘」の管理運営を経理する会計	収益的収支	119,844	136,113	▲16,269	不足額は前年度繰越利益剰余金1,028を充当
		資本的収支	0	13,866	▲13,866	不足額は損益勘定留保資金で補てん
国民健康保険病院事業	「織田病院」の管理運営を経理する会計	収益的収支	1,159,853	1,197,648	▲37,795	不足額は前年度繰越利益剰余金33,104千円を充当
		資本的収支	45,000	106,751	▲61,751	不足額は損益勘定留保資金で補てん

収入決算額と支出決算額の千円未満の金額は、切り捨てにより作成しています。

決算規模

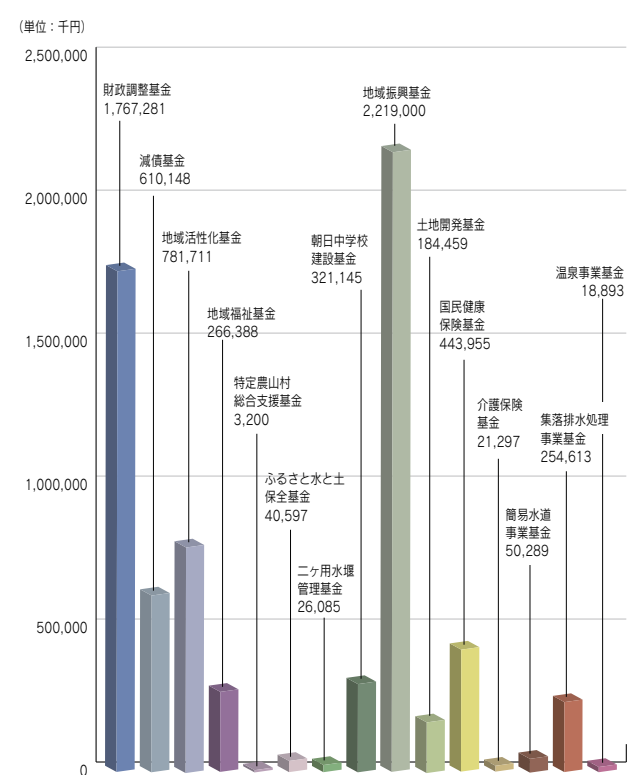
収益的収支と資本的収支の支出決算額の合計は17億1,926万6千円で、前年度と比べ3,638万6千円（対前年度2.2%）の増となりました。

決算収支

収益的収支の収支額の合計は5,399万5千円の赤字で、前年度と比べ2,600万9千円（対前年度92.9%）の増となりました。

基金の状況

平成17年度末の現在高



土地開発基金は、184,459千円のほか土地で約59千²を保有しています。千円未満の金額は、四捨五入により作成しています。

※1 財政調整基金	一般会計で、年度間の財源の不均衡を調整し、財源が不足する場合にこれをうめるための財源などに充てる基金
※2 減債基金	一般会計で、町債の償還に必要な財源に充てる基金
※3 地域振興基金	町民の連携の強化や地域の振興を図る経費の財源に充てる基金

平成17年度の 主な事業

快適で安全に住める
まちづくり

◆道路網の整備

町道改良事業

371,541千円

町道中央線の改良、中部縦断線消雪設備の整備、新庄気比庄線歩道の整備、織田平等一号線歩道の整備、梨子ヶ平八ッ俣線の改良など

国・県道改良事業

46,766千円

県施工による国道305号・305号・417号、主要地方道武生米ノ線、県道寺朝日線などの改良



梅浦バイパス(国道365号)が開通

◆水道の整備

朝日地区簡易水道統合整備事業

185,931千円

牛越送配水ポンプ場の設置、糸生中部配水池の増設など

織田地区簡易水道増補改良事業

105,630千円

惣分谷浄水場の配水池の増設、監視設備の設置など



水の安定供給を目指し増設された惣分谷浄水場

◆下水道などの整備

越前地区集落環境整備事業

496,774千円

農業集落排水事業による左右・梨子ヶ平地区での下水道管路と飲雑用水管路の布設など、漁業集落環境整備事業による米ノ地区での下水処理場と下水道管路の布設など

◆公共交通の充実

コミュニティバス運行事業

124,475千円

地域交通計画の策定とコミュニティバスの購入



町内の各地域をつなぐフレンドリー号

健康で安心して暮らせるまちづくり

◆医療環境の充実

織田病院医療機器整備事業

61,159千円

麻酔ガス患者モニター、超音波診断装置、全自動散薬分包機システムなどの購入



織田病院に導入された超音波診断装置

◆子育て・少子化対策の充実

乳幼児医療費無料化対策事業

26,349千円

平成17年10月診療分から小学校就学前までのすべての乳幼児の医療費の一部助成



子どもたちの健やかな成長を目指しています

延長保育事業

24,096千円

延長保育を行う町内の私立保育園に対する補助

人が輝き交流で満ちあふれるまちづくり

◆男女共同参画社会の推進

男女共同参画推進事業

1,205千円

「えちぜん男女共同参画のつどい」の開催や町内の集落・団体・小中学校を対象としたモデル事業を実施

個性豊かで誇りのもてるまちづくり

◆観光産業の活性化

イベント開催補助事業

58,430千円

越前陶芸まつり、越前夏まつり、あさひまつり、O・T・A・I・K.O.響などの開催に対する補助



越前焼の最大イベント「越前陶芸まつり」

◆循環型社会の形成

ごみ減量化・リサイクル推進事業

4,103千円

コンポスト購入者と資源回収実施団体に対する補助

元気で活力みなぎるまちづくり

◆農業の振興

県営農業農村整備事業

113,870千円

県営による中山間地域総合整備事業 宮崎地区・越前地区、農村振興総合整備事業 織田赤井谷地区、河川工作物応急対策事業 丹生七郷地区での農道・農業用排水路・集落道・防災施設等の整備に対する負担金

◆水産業の振興

白浜(城崎)漁港漁村再生事業

60,000千円

白浜(城崎)漁港の護岸・防波堤の改良



より良い漁港環境を実現

◆生涯学習体制の充実

朝日多目的ホール建設事業

616,106千円

朝日生涯学習センターに併設する朝日多目的ホールの建設など



町内に着実に広がっている男女共同参画への取り組み

◆学校教育環境の整備

四ヶ浦小学校・織田中学校大規模改造事業

251,740千円

老朽化による四ヶ浦小学校の改造と織田中学校の障害者用エレベーターなどの設置



サッカーにより、人々の交流も生まれます

◆国際交流の推進

国際交流事業

7,191千円

国際交流協会の設立、糸生小学校とタイ王国立力セサート大学附属小学校の交流や宮崎中学校生徒の米国フロリダ州ジャクソンビル市への訪問など

◆生涯スポーツの振興

ホッケー全国大会開催事業

6,900千円

総務・文部科学両省が進めるスポー



イベントなどで活躍する朝日多目的ホール